

1. 祈り 伊藤哲兄
2. 出席者確認 臼井泰輔牧師、伊藤哲兄、鈴木豊兄
3. 書記選出 鈴木豊兄
4. 審議

【1】会計報告

1-1. 臼井師より会計報告を説明頂いた。

直近1月で前月繰越金36万円で今月の収支が-95718円で残高が27万円くらい。

教会HPの一番下にFor church memberの所に今までの議事録・会計報告の詳細が公開されている。ざっくり去年残高113万円から始まって、昨年10月で残高55万円で今年始めの繰越金が35万円。年間-80万円くらいが現状。残高減のスピードが黒字の時もあった(Tシャツ販売・献堂 礼拝等) おおよそ月-8万から-10万円が現状である。

1-2. 財政難に対する対策とこれからのスタンス

色々な方法が以下考えられる

- ・寄付をお願いする。
- ・義務感を煽って月定献金を増やす。
- ・あえて御手にゆだねて財布を見ない。
- ・RENT イベント

伊藤兄より

- ・どこかの教団に属してはどうか？

鈴木兄より、教団によってはその教団の神学校を卒業しないと正式に認められないことがあることを実際聞いたため、時間が必要になると思われる。

臼井師より、超教派のような所を探せばサポートしてくれる所があるのか？は解らない。

臼井師より

- ・信徒にプレッシャーはかけたくない。現状月定献金もメンバーは捧げてくれている。
- ・残金が無くなったら牧師謝儀(10万円)をゼロにすれば教会会堂は維持できる。

しかし、牧師としての業務が手薄になってしまい日曜日はツアー等で稼ぎに行かなきゃならなくなるため、メッセージをメンバー交代で取り次いでいくような必要が出てくる。コロナが落ち着かないうちはすぐには動けないが、より広く伝道するための主の御心ではないかと感じていて委ねていきたい。

- ・月報が去年130通、これを180通くらいにしてスポンサー・サポーターをもっと募りたい。
- ・今の千歳ビルは入居できるのが7年までで、5年以降は毎年契約更新していくことになる。

3年計画で教会堂保有を考えてはどうか？2025年1月は新教会堂で礼拝できるように。

方法としては教会債の発行、あとはとにかくポジティブな要素で呼びかけて、再びファンドレイジングで寄付を募っていったらどうか？現状の収支を考えても非現実なことではないと感じる。

鈴木兄より

- ・3年計画案は役員会だけでは決められない。教会総会でメンバー皆の賛同を得ないとならない。

【2】教会メンバーの名簿について

現状：全く音信不通になってしまったメンバーもいれば、メンバーではないけど毎月サポートしてくれている方々もおられる。教会は共に成長する仲間のコミュニティであり献身的な所であるのに、どうなのか？疑問に思う。今一度メンバーの定義をはっきりさせたい。（総会の決定事項も決められない状況にある）今後どうしていくのが良いか？を話し合った。

今後の対策

- ・一度メンバー全員に【ライトハウスのメンバーか？】意思表示をして頂く。
準教会メンバー、教会メンバーの枠を設けてメンバーでなくサポートして頂いてる方々にも呼び掛けていく。永久会員ではなく2年に1回そのような意志表明の場を持ち、更新するようにする。
- ・他に教会籍があっても掛け持ちも可とする。さ迷ってる魂も多く見受けられるため、そのような魂をライトハウスは救っていきたいと考える。

【3】2022 年間スケジュール

- ・サライさんの結婚式 2/7 臼井師がリモートで司式
- ・イースター礼拝 4/17
- ・母の日記念礼拝 5/8
- ・ペンテコステ礼拝 6/5
- ・父の日記念礼拝 6/19
- ・降誕節アドベント 第一 11/27（日） 第二 12/4（日） 第三 12/11（日） 第四 12/18（日）
- ・クリスマスイヴ礼拝 12/24（土）
- ・クリスマス礼拝 12/25（日）

【4】今後の礼拝参加再開について

- ・まん延防止対策の解除後とし2/20から再開とする。
なお対策の延期等がなされた場合は別途協議していく。

【5】次回役員会議 2022年5月29日（日）

祈り 鈴木豊兄